

# 2021

# 校内研究全体計画

## 《目次》

1. 3年間を通した研究主題と設定理由
2. 教科設定の理由
3. 年間を通して目指す児童像
4. 研究仮説
5. 研修計画
6. 研究組織及び運営
7. その他



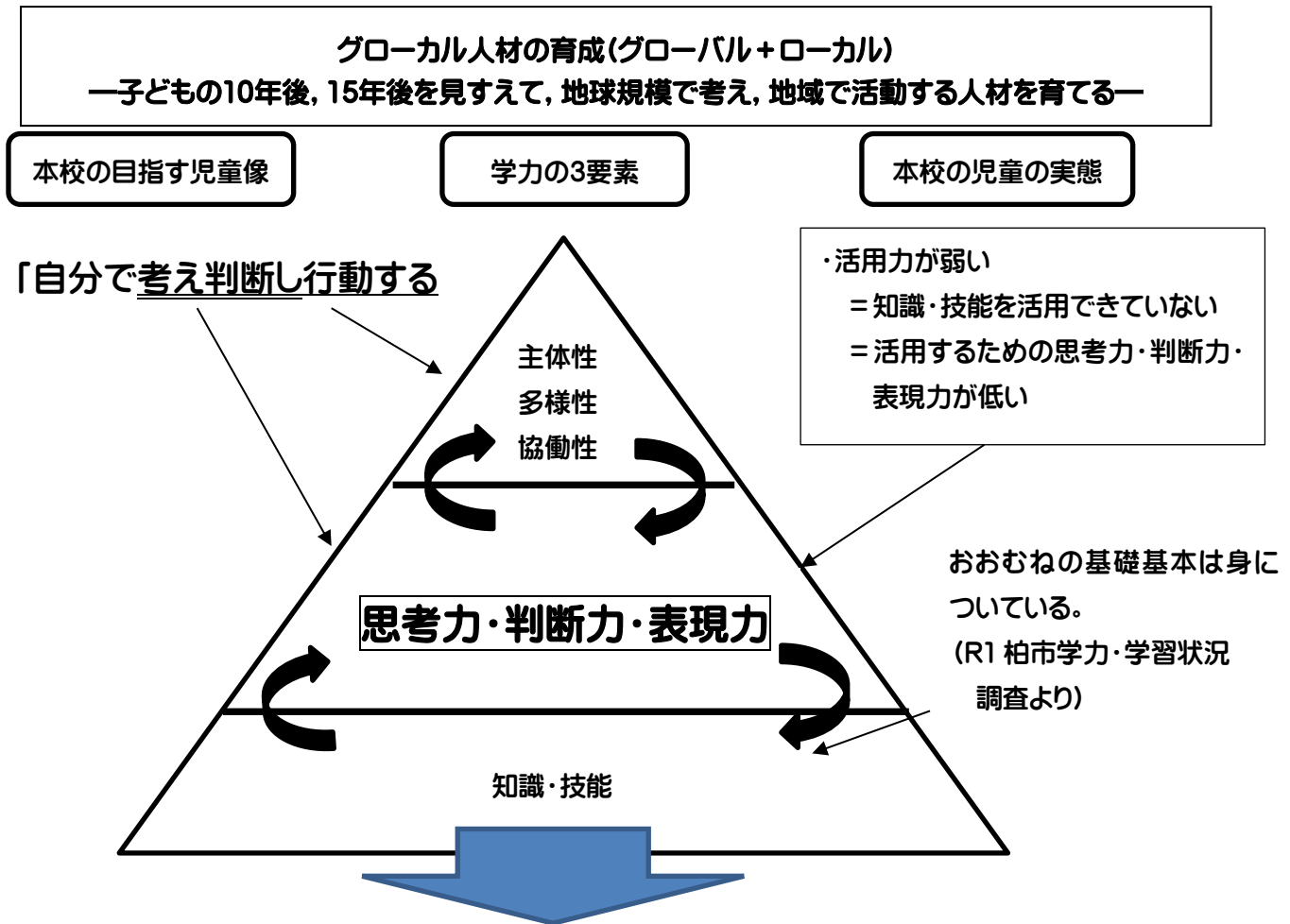
【ファイルにとじていくもの】

- ・全体計画
- ・年間学習指導計画
- ・四小スタンダード
- ・その他  
(研修で使った指導案や資料, ワークシートなど)  
ふり返られるようにまとめてください。

柏市立柏第四小学校

# 1. 3年間を通した研究主題と設定理由

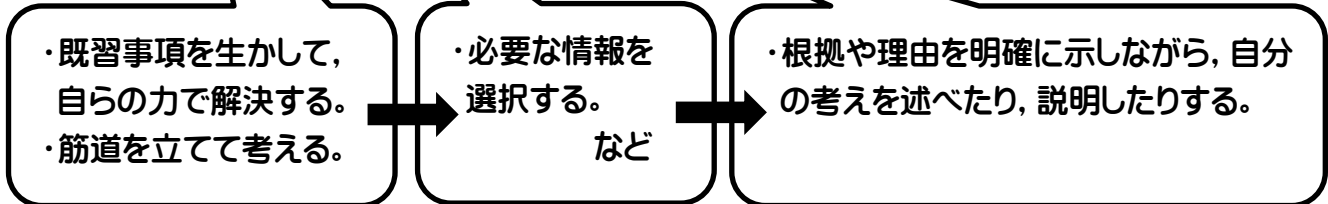
柏第四小学校 学校教育目標



研究主題

**思考力・判断力・表現力を育成する指導法の工夫**

## 2. 教科設定の理由



算数科学習指導要領第2章第2節より

「算数科の目標の中核には, 筋道を立てて考える力の育成を目指すことがある。」

「算数科の学習では, 言葉による表現とともに, 図, 数, 式, 表, グラフといった数学的な表現の方法を用いることに特質がある。このような多様な表現を問題解決に生かしたり, 思考の過程や結果を表現して説明したりすることを学ぶ。」

以上より, 研究主題を達成するために, 「算数科」が適していると言える！！

### 3. 3年間を通して目指す児童像

		低学年	中学年	高学年
学びの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数を楽しめる子</li> <li>・自分の考えを表現し、伝え合う子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を意欲的に解決しようとする子</li> <li>・自分の考えを根拠をもとに進んで表現する子</li> <li>・友達の考えを積極的に聞き、自分の考えを深められる子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもち、意欲的に解決しようとする子</li> <li>・筋道を立てて、自分の考えをわかりやすく表現する子</li> <li>・友達の考えを聞き、自分の考えと比較してよりよい方法を考えようとする子</li> </ul>
研究の方法	手がかり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を明確にする。</li> <li>・学年で共通のノートの書き方で指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の問題解決ができるように既習事項を掲示する。</li> <li>・わかりやすいノート作りをさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の手がかりとなる掲示物を掲示する。</li> <li>・わかりやすいノート作りをさせるようにする。</li> </ul>
	課題提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教具の提示の工夫をする。(ICTの積極的な活用)</li> <li>・教材教具の研究をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物、ICTの活用。教材教具の研究をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物、ICTの活用。教材教具の研究をする。</li> </ul>
	時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間配分を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間配分を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間配分を工夫する。</li> </ul>
	表現の仕方 比較検討の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を操作させ、図や言葉で表現させる。</li> <li>・言い出しの言葉を用意し、その言葉を使って自分の思いを表現させる。</li> <li>・児童と共に表現の工夫を考え、表現の幅を広げる。</li> <li>・児童から出てきた意見の同じところ・違うところを考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい表現の仕方をしている児童を紹介しながら授業を進める。</li> <li>・目的を持たせてペアやグループトークをさせる。</li> <li>・的確な場面で話し合いを設ける。</li> <li>・基本的な発表の工夫を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式、算数用語を使って表現させるようにする。</li> <li>・友達の意見の聞き方の観点を明確にさせる。</li> <li>・指名計画を工夫し、表現活動を活発にさせる。</li> <li>・話し合いのルールを徹底させる。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自力解決が難しい児童に対しての支援の方法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返る時間を設け、学習内容を確認させる。</li> </ul>

#### 4. 研究仮説 (2021年度 算数科1年目)

算数科を通して、自分の考えを数学的に表現することができれば、思考・判断・表現する楽しさや達成感を味わうことができるだろう。

#### 5. 研修計画

##### (1) 3年計画

研究主題：思考力・判断力・表現力を育成する指導法の工夫

1年目 (基礎作り)	研究副題	～自分の考えを、数学的方法を使って表現しよう～
	研究の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な操作活動を取り入れ、まず自ら考える時間を確保する。</li> <li>・数人の児童の考え方を手本として提示し、いろいろな表現方法(図、式、表など)を学ばせる。</li> <li>・板書、発問計画、ノート指導、ワークシートなど、わかりやすい授業のための支援を工夫する。</li> </ul>
2年目 (基礎～応用)	研究副題	～自分の考えを相手に伝えよう～
3年目 (最終年度)	研究副題	～自分の考えが相手に、より伝わる工夫をしよう～

※2年目、3年目の研究副題は、1年目終了後の実態に合わせて変更する。

##### (2) 年間計画

月	算数科	その他	形態	助言者
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の研究について</li> <li>・年間計画作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四小スタンダード確認</li> <li>・エピベン講習会</li> </ul>	推進委員会 学年・学団	校長, 教頭, 教務
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の年間指導計画見直し</li> <li>・ITアドバイザー研修(1人1台端末)</li> </ul>	推進委員会 学年・学団 全体会 学年・学団	校長, 教頭, 教務
6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科指導主事による研修(研究主題に沿った指導法と算数科の評価法について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法講習会</li> </ul>	学団・学年 全体会	校長, 教頭, 教務
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三校合同研修(不祥事研修)</li> </ul>	学年・学団	
9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期の研究の確認と見直し</li> <li>・校内研に向けて(指導案作成・検討)</li> </ul>		推進委員会 学年・学団	校長, 教頭, 教務
11月 ～ 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり一授業一実践</li> </ul>		学年	校長, 教頭, 教務
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究全体会(実践発表会)</li> <li>・次年度に向けて</li> </ul>		推進委員会 全体会	校長, 教頭, 教務

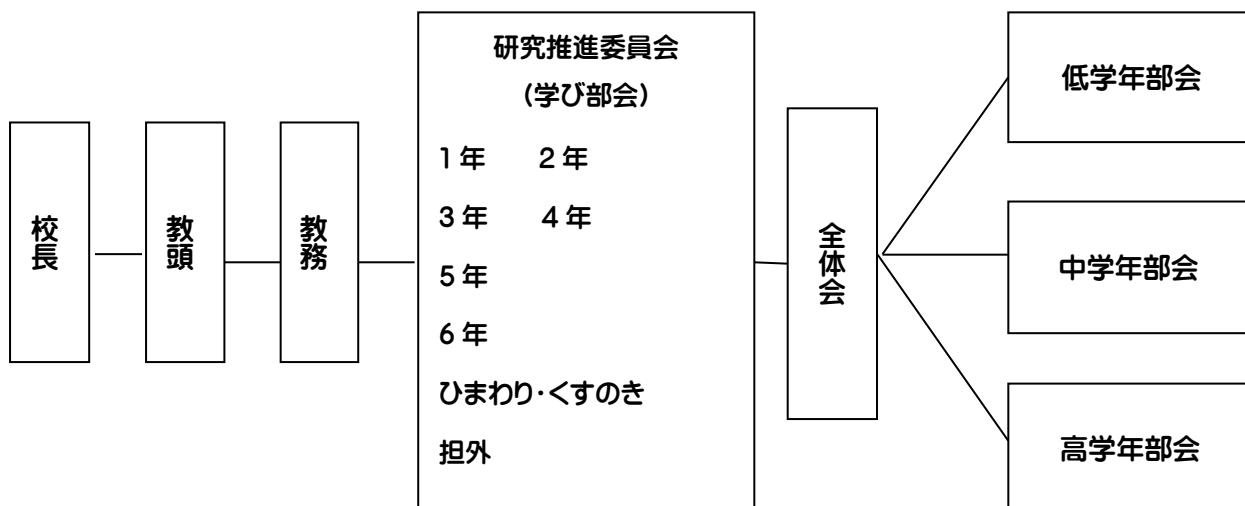
\* 研修日においては、学年部会や各部会を必要に応じて設定する。

\* 公開研究会には、できるだけ積極的に参加する。

\* 希望があれば、実技研修も実施します。(図工や体育など)

## 6. 研究組織及び運営

### (1) 組織

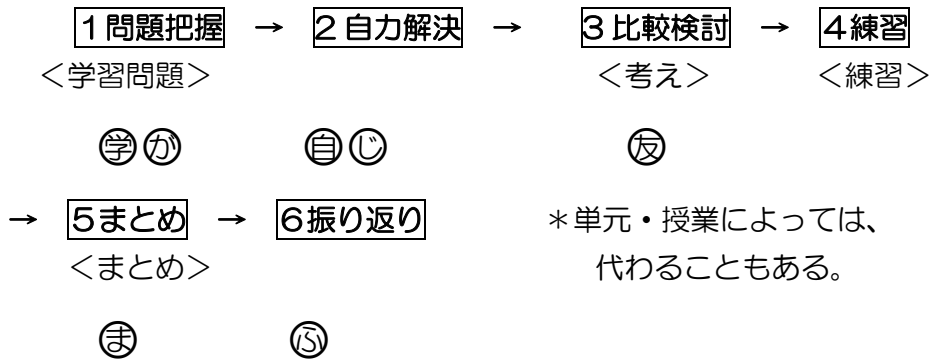


### (2) 運営

- ・研修日は設けない。学年・学団で週に一度計画して行う。
- ・全体会は必要に応じて開催し、研修計画、研修にかかわる内容などの決定及び確認の場とする。
- ・学び部会は必要に応じて随時開催し、各学年の研修の責任者が参加する。校長、教頭、教務主任は必要に応じて参加する。
- ・学び部会は、学年及び学団の研究の推進、連絡、運営に努め、使用教材等の保管を確実にを行う。
- ・1学期は、指導主事や ICT アドバイザーによる研修を行い、2・3学期に各学年で授業研究会を行う。
- ・支援級は、教科をしぼらずに研修を行う。

7. その他

(1) 授業の流れについて (H27年度柏四小研究紀要より)



(2) ノート指導について (H27年度柏四小研究紀要より)

「問題～まとめ」の流れが一目で分かるようにする

